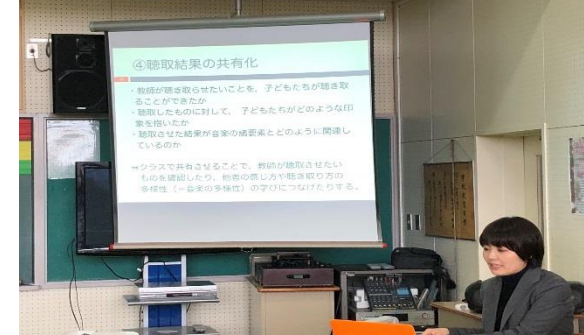



# 音楽科教育 実技・理論 研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>「豊かな感性に ときめく心を」          ～互いに学び合い、高め合い、表現する力を育む指導のあり方～          鑑賞の授業づくりのポイント～サウンド本位の鑑賞指導～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成30年11月27日(火)</p>	
<p>会場</p>	<p>石狩市立花川北中学校</p>	
<p>講師</p>	<p>小林 美貴子氏 (肩書:北海道教育大学札幌校)</p>	
<p>参加者</p>	<p>約 23名</p>	
<p>研修会 の 様子</p>		<p>「鑑賞の授業づくりのポイント」ということでまずは音楽科鑑賞の構造について説明して頂きました。</p>
		<p>鑑賞指導における教育内容について①音楽の雰囲気や情景 ②音楽を形作っている諸要素 ③その音楽に関する知識、作曲家に関することの3つにまとめて確認をしました。</p>
		<p>その後音楽科鑑賞指導のポイント5つを確認しました。</p>
		<p>A～Dグループに分かれ、小学校はチャイコフスキー「くるみ割り人形」・フランク作曲「ヴァイオリンソナタ」中学校は宮城道雄作曲「六段」・ロドリゴ作曲「アランフェス協奏曲」について実際にグループで具体的な指導ポイントを洗い出し、授業の構想を作成しました。</p>